

みずほCustomer Desk Report 2025/03/12号(As of 2025/03/11)

【昨日の市況概要】			公示仲値		
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	147.07	1.0840	159.35	1.2874	0.6281
SYD-NY High	148.12	1.0947	161.78	1.2965	0.6311
SYD-NY Low	146.55	1.0834	159.00	1.2874	0.6259
NY 5:00 PM	147.79	1.0919	161.36	1.2947	0.6299
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	41,433.48	▲ 478.23	日本2年債	0.8300%	▲0.0400%
NASDAQ	17,436.10	▲ 32.22	日本10年債	1.5100%	▲0.0600%
S&P	5,572.07	▲ 42.49	米国2年債	3.9484%	0.0599%
日経平均	36,793.11	▲ 235.16	米国5年債	4.0383%	0.0647%
TOPIX	2,670.72	▲ 30.04	米国10年債	4.2809%	0.0630%
ソコ日経先物	36,280.00	45.00	独10年債	2.8720%	0.0470%
ロンドンFT	8,495.99	▲ 104.23	英10年債	4.6805%	0.0355%
DAX	22,328.77	▲ 292.18	豪10年債	4.3790%	▲0.0410%
ハンセン指数	23,782.14	▲ 1.35	USDJPY 1M Vol	11.80%	▲0.47%
上海総合	3,379.83	13.67	USDJPY 3M Vol	11.00%	▲0.24%
NY金	2,915.90	27.19	USDJPY 6M Vol	10.62%	▲0.18%
WTI	66.25	0.22	USDJPY 1M 25RR	▲1.61%	Yen Call Over
CRB指数	302.95	0.62	EURJPY 3M Vol	11.18%	▲0.14%
ドルインデックス	103.42	▲ 0.48	EURJPY 6M Vol	10.85%	▲0.14%

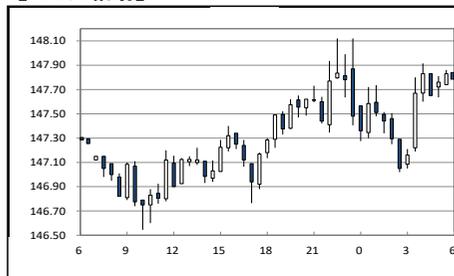
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月11日	08:30	豪 ウェストパック消費者信頼感指数	3月 95.9	-
	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	4Q 0.6%	0.7%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	4Q F 2.2%	2.8%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	4Q F 2.9%	2.8%
	09:30	豪 NAB企業信頼感	2月 -1	-
	09:30	豪 NAB企業景況感	2月 4	-
	23:00	米 JOLT求人	1月 7740k	7600k

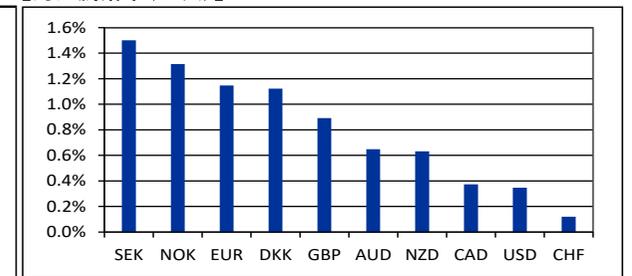
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月12日	21:30	米 CPI(前月比)	2月 0.3%	-
	21:30	米 CPI(前年比)	2月 2.9%	-
3月13日	00:15	欧 ECBレーン理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.50-148.50	1.0850-1.1000	160.70-162.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はドイツの政治不安が解消されたことによる独国債の利回り上昇からユーロ買い主導となりドル円も上昇。米国時間には堅調なJOLTSを背景に148.12まで上昇したものの、その後はアメリカとカナダの貿易戦争激化懸念からリスクオフとなり円が買われ一時147円近辺まで下落。しかし追加関税の見直しやウクライナの30日間停戦発表などを受けて巻き戻され147.80近辺でクローズした。

本日のドル円は上値が重い展開を予想。本日は米国時間にCPIの発表を控えているが、前月対比較調数字が予想されている。ここ最近ではトランプ大統領のディール外交に株や金利も翻弄されてる中で、パウエルFRB議長が金利低下を急いでないことを示唆しており、米国の先行きとしては景気後退リスクが高まっている。一方ドル円が下落すればと日銀への利上げ圧力が弱まりやすく、一方的な流れにはなりにくいものと思われる。

東京	東京時間のドル円は、147.07レベルでオープン。取引開始前には本邦24年10～12月期GDP改定値が発表、速報値からの下方修正を受けて発表直後は円売りで反応も影響は限定的となり、一時146.55まで買い戻された。その後は147円を挟んで方向感なく推移し、147.32レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.32レベルでオープン。独財政支出制限緩和について先日否定的なスタンスを示していた緑の党が交渉の用意ある旨を示し、独債券利回りの上昇を伴って全体的にユーロ買いとなる。ドルも対ユーロ、ホントで売られるもドル円はクロス円の上昇に支えられ底堅く推移し、結局147.60レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台前半でスタート。日経平均株価の軟調な展開が重しとなり、一時146.55まで下落。しかし、その後はトランプ米大統領が米主要企業トップと会談を行う等との報道を受け、じりじり値を戻し、147.60レベルでNYオープン。午前中に発表された米1月JOLT求人件数は予想を上回り、148.12まで上昇する。しかし、続いてトランプ大統領が「カナダからの鉄鋼に対し追加の25%の関税を賦課する事を商務長官に指示した」との速報が伝わると、リスクオフムードが強まり、147.30付近まで下落。午後はウクライナが30日間停戦の米国案を受け入れる用意があるとの速報を受け、リスクオフムードが後退し、147.90付近まで戻し、その後147.79レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。「ドイツの緑の党が防衛費をめぐるキリスト教民主・社会同盟と週内にも合意する可能性がある」との報道が好感され、買いが優勢となり、1.0905レベルでNYオープン午前中は先述のトランプ米大統領の関税案を巡る発言を受け、リスクオフのドル買いから一時1.0895まで下落するも、その後は下げ止まり、1.09台を回復。午後もユーロ高の展開が続き、1.0947まで上値を伸ばす。その後買い一巡となり、1.0919レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。